

あまねく神竜住まう国

おぎわらのりこ 荻原規子作 とくま しょうてん 徳間書店

平治の乱後、伊豆へ流刑となった少年源頼朝は、土地の豪族から不吉な罪人としてうとまれ、蛭が小島へ送られた。蛭が小島は氾濫をくり返す川の中州にあり、そのあたりでは大蛇に喰らわれる者がいるともいう。死を覚悟した頼朝に待っていたのは、思いがけない人物との再会だった。不思議なめぐり合わせに助けられながらも、まわりつく影の存在に追い込まれていく頼朝。土地神である神竜と対峙し、打ち勝つことができるときののか？

『風神秘抄』のその後を描く物語。

